

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 2 部門第 5 区分
【発行日】 平成 17 年 11 月 17 日 (2005.11.17)

【公表番号】 特表 2005-503960 (P2005-503960A)
【公表日】 平成 17 年 2 月 10 日 (2005.2.10)
【年通号数】 公開・登録公報 2005-006
【出願番号】 特願 2003-532347 (P2003-532347)
【国際特許分類第 7 版】
B 6 2 D 5/10
【F I】
B 6 2 D 5/10

【手続補正書】
【提出日】 平成 16 年 4 月 9 日 (2004.4.9)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

ラックピニオン式のステアリング装置であって、ハウジング内に配置されるとともにトラックロッドを介して操舵輪およびステアリングアームにその両端で接続されたラックと、ラックに連続的に係合するとともにステアリングコラムを介してハンドルに接続されたピニオンと、両側でハウジングとこのラックピニオン式のステアリング装置の軸方向可動部分との間で一体化されるとともにラックの両操舵方向の軸方向運動を制限するストッパ手段とを備え、ストッパ手段 (10、11、12) が、軸方向に相対的に移動可能なストッパ手段 (10、11、12) の非弾性の部分 (10、11) に完全に包囲された弾性的追従性材料 (12) を有しており、このステアリング装置の支持部材 (4 または 7) の面が、部分的に、弾性的追従性材料 (12) を包囲するために用いられるものにおいて、

弾性的追従性材料 (12) は、その一端がこのステアリング装置の支持部材 (4 または 7) の溝 (11) に埋設されるとともに、その他端が軸方向に限られた量だけ移動可能なフランジ (10) により囲まれることを特徴とするステアリング装置。

【請求項 2】

ストッパ手段 (10、11、12) が、両端でハウジング (4) 内で若しくはハウジング (4) 上で一体化されるとともに、トラックロッド (6) のアキシアルジョイント (7) の端面 (8) に対応していることを特徴とする、請求項 1 に記載のラックピニオン式のステアリング装置。

【請求項 3】

ストッパ手段 (10、11、12) が、トラックロッド側に設けられるとともに、ストッパ手段 (10、11、12) と反対方向を向いたハウジング (4) の端面 (9) にぶつかることを特徴とする、請求項 1 に記載のラックピニオン式のステアリング装置。

【請求項 4】

ストッパ手段 (10、11、12) の解放状態において、ストッパ面 (8 又は 9) の反対を向いたフランジ (10) の面 (13) は、それと対応する支持部材 (4 又は 7) の面 (14) からの距離を維持することを特徴とする、請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載のラックピニオン式のステアリング装置。

【請求項 5】

弾性的追従性材料 (12) が、アンダーカット (12') を有していることを特徴とす

る、請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載のラックピニオン式のステアリング装置。

【請求項 6】

ストッパ手段（１０； １１； １２）が、追加の要素により、及び／又は支持部材（４又は７）又はフランジ（１１）に向けた変位により適合されていることを特徴とする、請求項 1 乃至 5 のいずれか一項に記載のラックピニオン式のステアリング装置。

【請求項 7】

フランジ（１０）が、力伝達可能な接続若しくは形状嵌合式の接続により、弾性的追従性材料（１２）に接続されていることを特徴とする、請求項 1 乃至 6 のいずれか一項に記載のラックピニオン式のステアリング装置。